

# WORKSHOP 04 The 6th KU-KU Workshop (Kyushu Univ.-Korea Univ. Joint Workshop on Functional Materials)

日時: 2013年9月9 - 11日

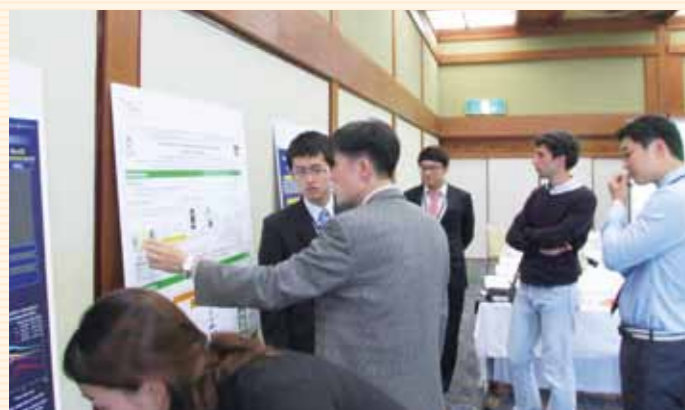
場所: 山口県 ホテル西長門リゾート

九州大学総合理工学研究院 島ノ江 憲剛・木田 徹也

KU-KU Workshop (Kyushu Univ.-Korea Univ. Joint Workshop on Functional Materials) は九州大学と高麗大学のそれぞれの学生が主体となって運営を行う形式の交流ワークショップとして2008年に発足した。これまでに、2008年11月に高麗大学をホスト校として第1回が韓国(ソウル)にて行われて以来、2009年5月に第2回(ホスト:九州大学、場所:大分)、2010年9月に第3回(ホスト:高麗大学、場所:ソウル)、2011年10月に第4回(ホスト:九州大学、場所:熊本)、2012年10月に第5回(ホスト:

高麗大学、場所:ソウル)が開催されている。今回の第6回は再び九州大学をホストとして山口(長門)にて開催した。本ワークショップでは、酸化物を用いた機能性デバイスについて両研究室の学生が、英語による口述、ポスター発表、質疑応答を行うものである。発表と質疑応答によるセミナーの前後には、レセプションパーティーやエクスカージョンの形で交流会を行っており、ホスト国の文化等の学習とともに、48時間英語漬けの研修も兼ねたワークショップである。

また、学生主体で運営を行うため、事前準備として、各担当者とのミーティング、当日の運営において必要な備品の準備、運営方法の確認等と、必要経費の管理を行う必要があるため、ホストの学生は、運営に携わる全員が全体の流れを把握し、臨機応変に対応できることが求められる。学生にとってはこれら運営に携わることで多くの経験が得られ、これも本ワークショップを行う重要な意義の1つである。



## 教育実績

### 「環境特論」実施内容

2013年度

	担当	内容	受講者数 (留学生内数)
環境特論Ⅰ (1単位)	原田 明 藤田 敏之 松井 紀久男 伊藤 一秀 寺岡 靖剛 佐々木 久郎	Introduction & Guide for environmental analytical chemistry Introduction to Environmental Economics Development of Eco-friendly Coal Mines in Overseas Countries Considering Environmental Issues Indoor Environmental Quality and Productivity Introduction to Exhaust Treatment of Automobiles Productions of Mineral Energy Resources and Geological CO2 Storage	11 (1)
環境特論Ⅱ (1単位)	渡邊 智明 Andrew Spring 渡邊 貴史 Arada Chaiyanurakkul	英語により国際環境のディベートを行うことで、国際環境の知識を深めるとともに、プレゼンテーションスキルおよび論理展開能力の向上を目的とする。 Topics: Did the Disaster at the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Signal the End of Nuclear Power Generation in Japan? Is There a Way to Meet Consumer Demand for Fish such as Tuna and Protect Endangered Marine life? Scientists and engineers will be able to solve the environmental problems?. Y/N	9 (4)
環境特論Ⅲ (1単位)	林 潤一郎 岡田 重人 平島 剛 永島 英夫 尹 聖昊 深井 潤	Introduction to Novel Carbon Resource Utilization & Conversion of Carbon Resources Secondary Batteries as Electrochemical Energy Storage System Coal Cleaning Technology and Its Application to Resources Recycling Catalysts to Save the Earth Novel Activated Carbons for the Applications to Energy and Environmental Devices Effective Use of Waste Thermal Energy	31 (18)

### 開講した「炭素資源科目」

2013年度

科目名	担当(敬称略)	内容
炭素資源学特論Ⅲ (1単位)	則永 行庸(九州大学)	化石資源熱化学
	岸田 昌浩(九州大学)	ガス精製、GTL
	寺岡 靖剛(九州大学)	触媒化学・工学
	林 潤一郎(九州大学)	石炭ガス化
	藤岡 祐一(福岡女子大学)	CCS(CO2の分離/貯留の基礎)
炭素資源学特論Ⅳ (1単位)	野村 誠治(新日鐵住金)	製鉄、コークス化
	齋藤 郁夫(産業技術総合研究所)	液化(石炭液化の基礎、現状と今後の展望)
	荒巻 寿弘(九州大学)	タールとCOG
	尹 聖昊(九州大学)	ピッチの炭化、炭素材料(1)
	尹 聖昊(九州大学)	ピッチの炭化、炭素材料(2)